卒研・卒制中間報告書テンプレート

【学籍番号】

**学外秘**

Template of Report for Graduate thesis / Graduate Work

○○研究室　　新宿 太郎　Taro Shinjuku

# はじめに（または緒言）

卒研・卒制の中間発表に先立って提出する課題（中間課題）として，中間報告書を作成し，提出する．

中間報告書はフォーマット（詳細は表１および図1を参照）に従って執筆する必要がある．各章の名称や順序は必要に応じて変更したり追加したりして構わないが，求められている内容が不足しないように十分注意すること．【以下，卒業研究の報告書を前提として記述する．卒業制作を行う学生は「研究」を「制作」に読み替えること】またレポートの書き方本（例えば(1)など）を参考に，正確で論理だった文章で作成するよう心掛けること．

「１．はじめに」では，実施しようとしている研究計画の概要，および前提となる背景事情を説明する．私見を述べるだけでなく，参考文献を活用して根拠データを含めた客観的な記述をこころがけること．

表 1　書式の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 説明 |
| 用紙サイズ・枚数 | A4　1～2ページ |
| 余白 | 上下…18 mm　 左…表20 mm，裏10 mm　　右…表10 mm，裏20 mm |
| 文字サイズ | 本文は原則として9ポイント．見出しなどはテンプレートファイルに従うこと． |
| 図表 | 図表には必ず個別の連番と題をつける．図題は図の下，表題は表の上に記述する． 題および図表内の説明は日本語または英語を用いる．  図表内の文字が小さすぎて読めない状態は避けること． |
| 学籍番号 | ページ右上に学籍番号TK\*\*\*\*\*\*を記載する |
| 表題 | 12ポイント以上の文字を使用し，日本語題・英語題の順に中央に書く． |
| 氏名 | 研究室名と氏名（日本語＋英語）を右寄せで書く． |
| 本文 | 文章は2段組とし，中央に1.0 cmの空白を設ける．また，1ページあたりの文字数が片段26字（または左右8.5 cm）×60行×2列＝3,120字程度となるように，文字間隔ならびに行間隔を設定すること． |
| 句読点 | 文章中の句点は　．　読点は　，　を使用する．（引用箇所は原著に従っても良い） |
| 参考文献 | 文献は末尾にまとめること．  本文中の引用箇所には，小括弧を付した番号を文章の右肩に記入（上付き文字）し，原著文献を明記すること．参考文献の形式は，SIST 02様式 (2)(3)に従う． |

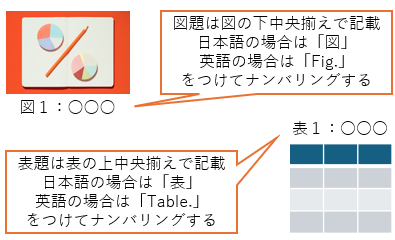


図 1　図や表にタイトルをつける

1. **研究目的（あるいは研究テーマ）**

「２．研究目的（あるいは研究テーマ）」では，本研究において何を達成しようとしているのか，達成目標と得られる成果物を明確に記述する．

あわせて，ターゲットすなわち研究成果のベネフィット（利益）を受けるもの（人・企業・国・人類全体など）を明確にし，その研究成果によってどのようなベネフィットが得られる見込みであるかを明確にする．

1. **前提知識（あるいは背景知識）**

研究内容の理解および議論に特別な（目安としては，義務教育～IPUTの同コース学生が授業で習う範囲を超える部分）知識が必要となる場合は，「３．前提知識（あるいは背景知識）」として整理する．

特別な知識を必要としない場合は章ごと省略して構わない．

1. **研究計画**

「２．研究目的（あるいは研究テーマ）」で示した達成目標を実現し，成果物を得るために必要な「今後行うべき活動」とその実現計画（予算・日程・必要な機材や人の確保）を詳しく述べる．

1. **おわりに（または結言）**

最後に報告のまとめや，研究を完遂したあとのさらなる展望について述べる．（すでに実施済みの研究成果などがある場合は「おわりに」の前に章を立てて記載して構わないが，中間発表では評価対象外である）

文 献

1. 岡本 健他. ゆるレポ: 卒論・レポートに役立つ「現代社会」と「メディア・コンテンツ」に関する40の研究.人文書院,2021,206p.
2. 独立行政法人科学技術振興機構. S I S T 0 2 - 2007参照文献の書き方. <https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12003258/jipsti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST02-2007.pdf> (2024-09-03確認)
3. USACO. [学生向け] レポート・論文に使える参考文献の書き方. <https://www.usaco.co.jp/endnote/reference_report.html> (2024-09-03確認)